

# 平成28年度第2回野田市学校給食運営委員会

平成29年1月28日(土)  
午前10時から  
こうのとりの里 レクチャールーム

## 1 開 会

## 2 挨拶

(1) 教育長

(2) 委員長

## 3 議 事

(1) 平成28年度の賄材料費の執行状況について

(2) 給食費の未納状況及び未納に対する対策について

(3) 地産地消の実績及び今後の見通しについて

## 4 その他

(1) 給食食材の安全性確保について

(2) 今後の学校給食運営委員会の運営について

## 5 閉 会

# 1 平成28年度の賄材料費の執行状況について

## (1) 各調理場の執行状況

### 執行状況の目標

- ・1食当たりの単価が、基準単価（小学校253円、中学校304円）のプラス・マイナス3%以内になることを目標に執行しております。その執行状況は教育委員会でも毎月チェックを行っており、2か月以上続けて、プラスマイナス3%を超えた場合には栄養士に連絡を取り、指導助言を行っております。

	基準単価	プラス・マイナス3%の範囲
幼稚園・小学校	253円	245.4円～260.6円
中学校	304円	294.9円～313.1円

### 4月から12月の状況

4月から12月までの平均でみると、単独校16校、野田センター及び関宿センターは、プラス・マイナス3%以内で執行できておりました。東部小学校、東部中学校につきましては、プラス・マイナス3%以内の執行ができませんでしたので、1月から3月の献立を立てる際に調整し、基準単価に近づけるように、指導を行ってまいります。

### 今後の賄材料費の管理について

今後も、月ごとの予算執行において、基準単価のプラス・マイナス3%で執行できるように、給食管理システムの各食品の単価管理を行い、前月中に翌月の献立の全ての食材の発注金額（見込み）を予算管理シートに入力し、その結果を受けて、献立を変えたり、発注量の増減を行ったりし、調整をした上で予算を確定させてから執行するよう、指導を徹底してまいります。

## (2) 全体の執行状況

全体的に見ますと、小学校では、基準単価253円のところ、4月から12月までの全体平均が254.80円で、基準単価のプラス1.01%となっております。中学校では、基準単価304円のところ全体平均が305.30円で、基準単価のプラス1.00%となっております。

小中学校とも、月ごとにプラス・マイナスの変動はありますが、現在までの賄材料費につきましては、順調に執行されております。

## (3) 野田産米補助について

第1回給食運営委員会でもご報告いたしましたが、平成27年度は、野田産米が予定より安価であったことから、野田産米補助額において余った額約90万円を副食代にまわすこととしました。

平成28年9月議会で、野田産米補助を約90万円増額補正し、今年度の副食代の充実を図ることとしました。

また、平成28年度の野田産米も、予定（予定価格は312円/kg）より、295円/kgと安価なため、今後も副食代の充実に向けてまいります。

平成28年度学校別及び月別食材費の1食当たり単価(野田産米補助を含まない)  
 網掛けは、基準単価(小253円、中304円)の±3%の幅を超えたもの 単位:円

学校名		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	基準	平均
東部小	単価	26686	26900	25156	26683	26272	26359	25490	25806	253	26169
	間差	548	632	057	547	384	419	075	200		343
南部小	単価	26136	26595	26644	26016	25217	25064	24568	24512	253	25594
	間差	330	512	531	283	033	093	289	311		116
北部小	単価	24766	26194	25144	27262	25568	25005	24746	26129	253	25602
	間差	211	353	062	775	106	117	219	328		119
福一小	単価	29380	27403	23437	25440	27828	25741	24950	24142	253	26040
	間差	1613	831	736	055	999	174	138	458		293
福二小	単価	26522	25892	24580	22886	27330	25464	24472	24083	253	25154
	間差	483	234	285	954	802	065	327	481		058
川間小	単価	24808	25065	26101	26169	26399	24625	25290	24720	253	25394
	間差	194	093	317	343	434	267	004	229		037
山崎小	単価	25568	26154	25533	25352	24657	24528	23566	24166	253	24941
	間差	106	338	092	021	254	305	685	448		142
岩木小	単価	26709	26249	25977	25209	27289	24982	24772	23770	253	25620
	間差	557	375	268	036	786	126	209	605		126
尾崎小	単価	26137	25889	25979	25232	26029	26141	24440	24582	253	25554
	間差	331	233	268	027	288	332	340	284		100
七光台小	単価	25207	25493	25261	25949	25299	25144	25296	24874	253	25315
	間差	037	076	015	257	000	062	002	168		006
二ツ塚小	単価	25123	25327	24263	24348	25303	25766	25488	23879	253	24937
	間差	070	011	410	376	001	184	074	562		143
みずき小	単価	24882	25348	25755	27071	25977	26459	24674	24445	253	25576
	間差	165	019	180	700	268	458	247	338		109
野田センター	単価	27000	26100	25700	25200	24000	25600	24928	25336	253	25483
	間差	672	316	158	040	514	119	147	014		072
関宿センター	単価	26309	25569	25123	24925	25460	25275	24928	25107	253	25337
	間差	399	106	070	148	063	010	147	076		015
小学校平均		26088	26013	25332	25553	25902	25440	24829	24680		25480

東部中	単価	32529	31288	31303	31596	32773	32239	31674	31512	304	31864
	間差	700	292	297	393	781	605	419	366		482
南部中	単価	32434	31314	30670	29256	30205	30749	28398	27895	304	30115
	間差	669	301	089	376	064	115	659	824		094
北部中	単価	30588	30582	30801	31261	30276	30973	29668	29509	304	30457
	間差	062	060	132	283	041	188	241	293		019
福田中	単価	33994	30719	27469	26237	30566	30529	29591	30708	304	29977
	間差	1182	105	964	1369	055	042	266	101		139
川間中	単価	30912	30497	30145	30654	29996	29789	29831	30616	304	30305
	間差	168	032	084	084	133	201	187	071		031
岩名中	単価	30732	30649	30063	30997	30657	30830	30205	30209	304	30543
	間差	109	082	111	196	085	141	064	063		047
野田センター	単価	32500	31300	30900	30300	28900	30800	29449	30443	304	30574
	間差	691	296	164	033	493	132	313	014		057
関宿センター	単価	31570	30683	30148	29910	30552	30330	29913	30128	304	30404
	間差	385	093	083	161	050	023	160	089		001
中学校平均		31907	30879	30187	30026	30491	30780	29841	30127		30530

## 2 給食費の未納状況及び未納に対する対策について

### (1) 現年度(平成28年度)分の未納額の状況

過去5年間の同時期と比較すると、平成28年度につきましては、平成27年度に比べ未納額が約63万円、未納率が0.14%減少しました。現年度分の未納が少しでも減少するよう、年度末に向けて、更に各学校に協力を依頼してまいります。

【平成23年度から平成27年度の年度末、28年度4月から11月末までの未納状況】(単位:千円)

年度	徴収する給食費	未納額	未納率
23年度	390,271	3,507	0.90%
24年度	387,595	2,512	0.65%
25年度	387,973	2,308	0.59%
26年度	404,377	3,105	0.76%
27年度	424,681	3,401	0.80%
28年度	423,609	2,779	0.66%

### (2) 過年度分未納額に対する収納状況

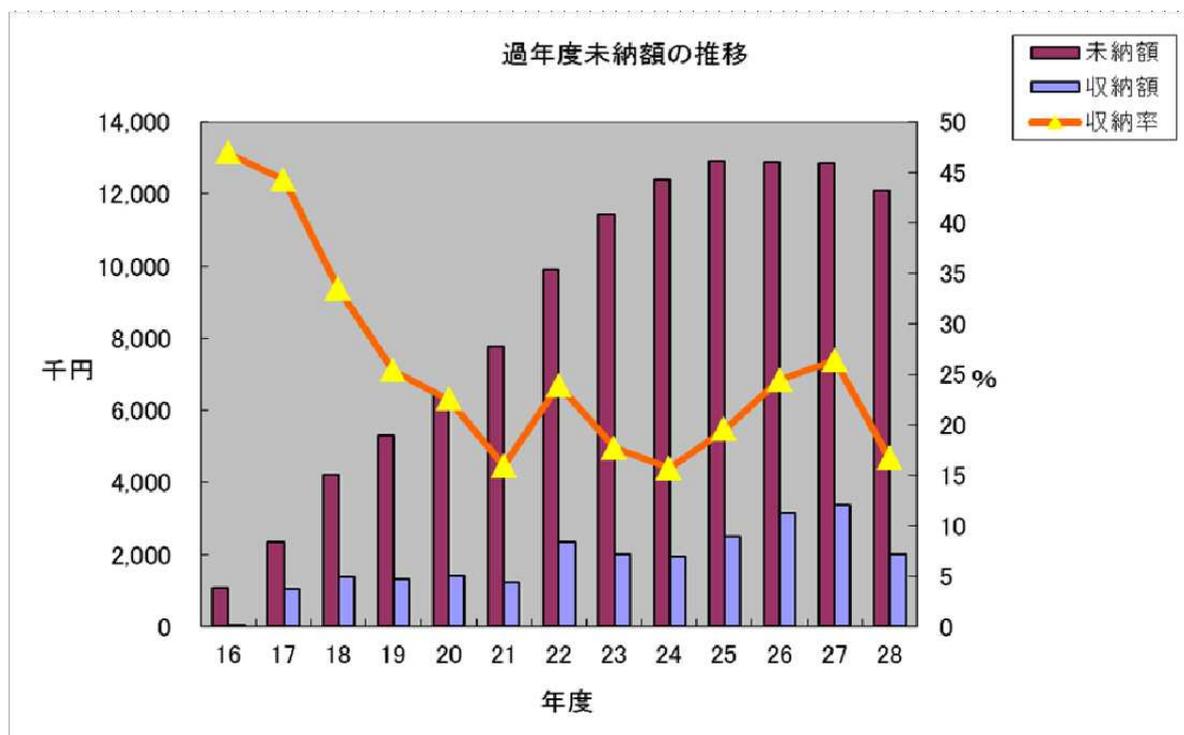
過年度分未納額すなわち過去の未納額は、現年度の未納額が累積していくため、年度初め滞納額は、平成25年度まで年々増加しておりましたが、平成26年度以降は前年度の収納額が増加したため、年度初め滞納額は、増加することなく、ほぼ横ばいから減少へと転じました。平成28年度12月末日までの未納総額は1,008万円(平成27年度12月末日滞納総額は、1,025万円)です。

なお、平成28年度の収納額及び収納率は、平成28年度の12月末日までの9ヶ月間の実績となります。今後、3月までには、更に児童手当等からの徴収もありますが、昨年度に比べ収納額が低い状況にありますので、過年度の督促も強化して参ります。

#### 【過年度未納額の推移】

H27までは決算時、H28は12月末日まで

年度	未納件数	年度初め滞納額(円)	収納額(円)	未納総額(円)	収納率(%)
23	223件	11,417,775	2,019,426	9,398,349	17.69
24	279件	12,403,367	1,944,351	10,459,016	15.68
25	296件	12,915,018	2,516,665	10,398,353	19.49
26	214件	12,895,211	3,148,428	9,746,783	24.42
27	237件	12,844,993	3,392,062	9,452,931	26.41
28	218件	12,086,962	2,007,861	10,079,101	16.61



### (3) 平成28年度の収納対策

#### 今年度の具体的な取組

学校での取組（各校の状況に応じて、随時実施）

- ・保護者会等での説明
- ・学校及び学年便りを通じた依頼
- ・保護者への電話及び手紙での督促
- ・学級担任等による家庭訪問
- ・小中学校間の情報交換
- ・現在手集金を実施している学校  
中央小、宮崎小、柳沢小、みずき小、  
第一中、第二中、東部中、川間中、木間ヶ瀬中、二川中（一部）

#### 市教委での取組

- ・給食申込の実施（4月）
- ・夜間、土、日曜日の電話による督促（11月15日～25日、2月実施予定）（随時）
- ・臨戸徴収の実施（6月25日、11月26日、2月実施予定）（随時）
- ・催告文書の発送（滞納世帯10月19日）
- ・再催告書の送付（催告書を送った世帯の内、定期的な納入がない世帯2月実施予定）
- ・該当家庭への訪問による状況説明（随時）

#### 児童手当からの給食費の徴収について

児童手当法が改正され、法第22条の3（申し出による徴収）で、未納分の給食費に関し、受給者の申し出により滞納給食費を児童手当から天引きできるようになりました。徴収範囲は未納分に限り、児童手当対象者だけでなく、中学校を卒業した生徒の未納分は、その弟妹の児童手当からの徴収も可能となっています。

平成28年度は56件の申し出を受け、1,213,395円が徴収済みとなりました。今後2月の児童手当からの徴収により557,950円が徴収予定となっております。これにより、今年度の合計金額は、1,771,345円となり、平成28年度申出をした56件中、35件が完済予定となります。

なお、昨年度から、給食申込書で、3か月以上未納となった場合は、児童手当からの引き落としに同意する意向をあらかじめ伺うこととしました。このことについて御理解をお願いし、児童手当からの引き落としを活用した納入は、昨年度より、218,981円増加しております。

更に、年度末には、学校より該当保護者に、児童手当からの引き落としを説明し、申出書を提出いただける等の効果を期待しております。

#### 悪質滞納者に対する法的措置

市では、悪質な滞納者について、裁判所による支払督促の実施も視野に入れた取組を進めております。

平成28年12月末までの過年度分として、152世帯で約1,008万円の滞納があります。世帯数を単位として、この滞納額を区分すると次表のとおりとなります。

滞納額区分	H28(12月末) 世帯数	H27(12月末) 世帯数
1円以上 ～ 10,000円未満	23	26
10,000円 ～ 50,000円	63	80
50,000円 ～ 100,000円	38	42
100,000円 ～ 200,000円	18	16
200,000円以上	10	8
合計	152	172

このうち、裁判所による支払督促申立ての対象とする悪質な滞納者については、原則として次の事項全てに該当する者としております。

ア 滞納額が10万円以上の者

イ 過年度滞納分において、催告書等の送付、臨戸等による納付指導及び通告書の送付にもかかわらず、前年度及び今年度（平成27年度及び28年度）において、過年度分滞納金の納付も納付誓約書等の提出もない者、又は、納付誓約書を提出したにもかかわらず、履行しない者

ウ 現年度の給食費において、前年度（平成27年度）に納めるべき金額の半分以上が未納となっている者

エ 野田市に住民登録があり、現に居住していることが確認できる者（滞納者の住所地の裁判所の管轄となるため）

ただし、長期疾病や不慮の災害、昨年度又は今年度において、生活保護又は準要保護の適用を受けた者、その他やむを得ない特別の事情があると認められる場合は、裁判所による支払督促申立ての対象としないことができるものとする。

平成28年12月末現在、10万円以上の滞納家庭は28世帯ありますが、上記の条件にすべて当てはまり、裁判所による支払督促の対象となるのは3世帯となります。これらの世帯につきましては、引き続き納入にご理解を頂くよう、2月に臨戸徴収を行う等、年度末まで粘り強く働き掛けを継続いたします。それでも改善されない世帯に対しましては、最も悪質性の認められる世帯から順次、裁判所による支払督促申立てを実施する方向で検討していきます。

具体的な悪質滞納者の事例について（法的措置実施の承認について）

【事例1】

滞納額及び状況	313,708円
就学援助・生活状況等	・生活保護受給家庭ではない。 ・リフォーム・趣味等に費やす生活の余裕が見られる。 ・子は卒業。
対応等	・電話督促、催告書に反応がほとんどない。 ・平成28年度に5,000円納入（電話督促後） （平成27年度に5,000円納入（臨戸徴収）） ・誓約書を記入するも、定期的な納入なし。

【事例2】

滞納額及び状況	151,896円
就学援助・生活状況等	・生活保護受給家庭ではない。 ・平成28年度に引っ越し。 ・子は卒業。
対応等	・電話督促、催告書、臨戸徴収に反応がない。 ・平成28年度に納入なし。 （平成27年度5,000円納入（臨戸徴収）） ・納付書を渡しても、自主的な納入は無い。 ・誓約書を記入するも、継続的な納入なし。

【事例3】

滞納額及び状況	109,836円
就学援助・生活状況等	・生活保護受給家庭ではない。 ・子は卒業。
対応等	・催告書に反応がない。 （平成27年に4,000円納入（臨戸徴収後）） ・電話督促の際に都合が悪いと応じない。 ・納付書を渡しても、自主的な納入は無い。 ・誓約書を記入するも、継続的な納入なし。

### 3 地産地消の実績及び今後の見通しについて

#### (1) 野田産ブランド米の活用について

米飯給食については、平成22年10月1日から、千葉県学校給食会を經由せずに直接、ちば東葛農協から「玄米黒酢農法米」及び「江川地区の減農薬・減化学肥料栽培で生産された米」を購入し、より安全安心で安価な米飯給食を実施しております。

また、平成27年度の給食費の値上げにより、月一回以上の雑穀米の実施を行ってまいりましたが、平成28年11月1日から、精米工場に依頼し「玄米黒酢農法米」を発芽玄米に加工し、月に1回以上学校給食で発芽玄米入りご飯を提供するようになりました。

#### (2) 地元農家から学校給食への野菜の供給

学校や地域の実態に応じて、地元産の野菜の活用を進めているところです。

平成28年度の12月までの購入量は、野田給食センター、関宿給食センターへの4Hクラブの納入が軌道に乗り始めたことや、大規模校での活用の増加や、ビニルハウスを建てるなど年間を通して出荷できるようにしたことにより、下表のとおり、前年の同時期よりも総量で2.05倍に増加しております。教育委員会としましては、更なる各農家への直接的な働きかけの強化及び担当栄養士への意識向上を図ると共に、新たに協力していただける方の開拓も含め、地元農作物による地産地消を推進してまいります。

#### 【平成27年度及び平成28年度地元農家からの購入状況】

	販売者 (敬称略)	購入施設	購入額(単位:k g)		品目例
			28年度 4~12月	27年度(年間) 4~12月	
1	北農クラブ (五木)	北部小、岩木小 七光台小、北部中 川間中、岩名中	13,929	(16,342) 11,783	ほうれん草、小松菜、 キャベツ、じゃがい も、きゅうり
2	石山まゆみ (木野崎)	南部小、福一小 山崎小、ニツ塚小 みずき小、南部中 福田中	1,944	(4,021) 2,426	ねぎ、ほうれん草
3	遠藤 徹也 (鶴奉)	東部小、川間小 尾崎小、東部中 福二小、南部中 野田センター、関宿センター	20,350	(11,380) 7,551	ほうれん草、小松菜
4	金剛寺みち子 (西三ヶ尾)	福二小	229	(327) 247	白菜、小松菜、 キャベツ、じゃがいも
5	根本 とみ (三ツ堀)	東部小、福一小 福田中、ニツ塚小	78	(230) 104	白菜、小松菜、ねぎ キャベツ、じゃがいも
6	篠崎 達夫 (鶴奉)	東部小	20	(9) 8	みつば
7	4Hクラブ (市内全域)	野田センター 関宿センター	32,027	(14,067) 11,132	キャベツ、小松菜 長ねぎ、ほうれん草、 きゅうり、人参、大根
8	池澤 宣夫 (木間ヶ瀬)	川間小	4Hクラブへ	90	ほうれん草、トマト、 きゅうり
9	池澤 利夫 (木間ヶ瀬)	川間小	4Hクラブへ	22	小松菜
	計		68,577	(46,488) 33,363	

## 4 その他

### (1) 給食食材の安全性確保について

#### 基本的な考え

学校給食では、市場に流通している安全な食材の使用を基本としながら、各調理場の担当者や市教育委員会が、国や県のホームページ等で出荷制限情報等を注意深く確認し、納品の際、産地等の確認と記録を行っております。さらに調理についても、葉物については水洗い、根菜については皮をむく等きめ細やかな対応を図っています。

学校教育課では、平成23年12月からは、保護者の皆様の安心をより得るため、市場に流通している食品も含めた全食材の中から最大5品目の「調理前給食食材検査」と5食の「調理後給食1食丸ごと検査」（調理後の給食1食分をミキサーにかけて検査）を毎週実施していました。

平成24年6月から、消費者庁より放射性物質検査機器1台の貸与があり、9月にもう1台の貸与を受け、現在は調理前食材検査を各施設あたり週2.2回、調理後給食1食丸ごと検査については各施設あたり週1.6回の検査が行われています。検査の結果につきましては、市のホームページに掲載しております。また、各学校やセンターから給食だより等で、検査の結果をお知らせしております。

#### 【結果例：市ホームページより一部抜粋】

##### 調理前給食食材検査

(単位：ベクレル/キログラム)

検査日	品目	産地	調理場名	使用日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
12/19	きゅうり	茨城	東部小	12/20	検出せず (9.96未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	さつまいも	千葉	南部小	12/21	検出せず (9.95未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	ほうれん草	千葉	福田一小	12/20	検出せず (9.85未満)	検出せず (11.3未満)
12/19	かぶ	千葉	福田二小	12/21	検出せず (9.89未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	鶏もも	東京	山崎小	12/21	検出せず (10.7未満)	検出せず (12.3未満)
12/19	白菜	茨城	二ツ塚小	12/20	検出せず (9.96未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	小松菜	千葉	東部中	12/21	検出せず (11.3未満)	検出せず (10.6未満)
12/19	キャベツ	愛知	南部中	12/21	検出せず (9.92未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	人参	千葉	南部中	12/20	検出せず (9.98未満)	検出せず (11.5未満)
12/19	小松菜	茨城	福田中	12/21	検出せず (9.89未満)	検出せず (11.4未満)

## 調理後給食1食まるごと検査

(単位：ベクレル/キログラム)

検査日	調理場名	献立	繪 実 日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137
12/19	南部小	ご飯、牛乳、豆腐ナゲット、即席漬、利休汁、はやか	12/15	検出せず (11.4未満)	検出せず (10.5未満)
12/19	北部小	きなこ揚げパン、牛乳、卵とエビとブロッコリーのソテー、白いんげん豆のミネストローネ、みかん	12/15	検出せず (9.88未満)	検出せず (11.4満)
12/19	川間小	中華丼、牛乳、カシューナッツサラダ、にら玉スープ、花みかん	12/15	検出せず (9.96未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	山崎小	ご飯、牛乳、手作りカレーコロッケ、小松菜とチーズのわさびじょう油和え、大根の味噌汁	12/16	検出せず (11.5未満)	検出せず (10.0未満)
12/19	みずき小	わかめご飯、牛乳、ししゃもの照り焼き、切干のごま酢和え、さつま汁、みかん	12/16	検出せず (11.1未満)	検出せず (10.4未満)
12/19	北部中	ポークカレー、牛乳、わかめサラダ、フルーツポンチ	12/15	検出せず (9.96未満)	検出せず (11.4未満)
12/19	岩名中	マーボーうどん、牛乳、チーズパン又はレーズンシュガーパン、小松菜サラダ、かまച്ചのバター煮、小魚	12/15	検出せず (10.5未満)	検出せず (9.2未満)

新たな基準値では、放射性ヨウ素の測定は不要となりました。

検査結果の「検出せず」とは、「測定下限値未満」であることを表示しています。

新基準値(4月1日から適用)

	飲料水	牛乳	乳児用食品	一般食品
放射性セシウム 134と137の合計	10 Bq/kg	50 Bq/kg	50 Bq/kg	100 Bq/kg

## 野田産の米について

市では、より安全を確認するため平成28年度産米の検査を実施しました。検査結果は以下のとおりです。

【結果例：市ホームページより一部抜粋】

番号	検査日	採取日	品目	栽培状況	地域	放射性セシウム134	放射性セシウム137
1	平成29年 1月18日	平成28年 9月15日	米	露地	中部	検出せず (6.26未満)	検出せず (5.74未満)
2	平成29年 1月18日	平成28年 9月15日	米	露地	中部	検出せず (6.26未満)	検出せず (5.74未満)
3	平成29年 1月18日	平成28年 9月15日	米	露地	北部	検出せず (6.26未満)	検出せず (5.74未満)
4	平成29年 1月18日	平成28年 9月15日	米	露地	関宿	検出せず (6.26未満)	検出せず (5.74未満)
5	平成29年 1月18日	平成28年 9月15日	米	露地	関宿	検出せず (6.26未満)	検出せず (5.74未満)

## (2) 平成29年4月からの学校給食放射能検査について

第1回野田市学校給食運営委員会で御承認をいただきましたとおり、他市においても学校給食放射性物質検査により、給食の安全が担保されていることや、検査費用及び検査業務の負担軽減を図る狙いから、次の方法で取り組みます。

**まるごと検査を終了し、食材検査のみ実施する。**

**食材検査については縮小して実施する。**

平成27年度実績 1585検体 平成29年度予定 約904検体(学校菜園・プール水含む)  
**平成27年度の実績と比較しても、平成29年度の野田市の予定は近隣5市の中で最多  
野田市を除く近隣5市の平成27年度平均の2.9倍の検査を実施予定。(平均313検体)**

- ア 市場に流通していない地場産食材(学校給食農家登録をしている食材22種類)**  
みつば、長ネギ、ほうれん草、人参、大根、枝豆、じゃがいも、きゅうり、なす、トマト、里芋、白菜、玉ネギ、小松菜、空豆、かぼちゃ、さつまいも、かぶ、とうもろこし、しょうが、ピーマン、青梗菜等 季節や取り扱い農家数により13検体から28検体の検査を実施する。
- イ 原子力災害対策特別措置法に基づく出荷制限等のある食材(使用する可能性がある食材18種類)**  
ほうれん草、小松菜、水菜、チンゲン菜、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、カリフラワー、カブ、たけのこ、くり、しいたけ、ナメコ、フキ、ゼンマイ、ワラビ、ユズ、キウイ  
実際に検査する際は加工品の場合もあり

**市場に流通していない地場産食材と出荷制限のある食材を月に2回ずつ、隔週で検査を実施する。**

## (3) 今後の給食運営委員会の運営について

- ・学校給食に期待すること、学校給食へのご意見等